



2020年活動報告書

一般社団法人 S.C.P. Japan
Sport for Creating Pathways Japan



私たちは、
一人ひとりが自分らしく歩んでいける未来のために
共生社会を推進しています。

挨拶

「スポーツを通じて大切な仲間ができました。」

「スポーツを通じて夢ができました。」

「スポーツを通じて本当の「助け合い」を学びました。」

「スポーツを通じて海外に挑戦する勇気を得ました。」

「スポーツを通じて世界中に友人ができ・・・これまで他人事だった戦争、貧困、飢餓、感染症、人身売買、麻薬、大気汚染、海洋汚染などが急に身近な問題となりました。」

生きるためにスポーツよりも必要なものは沢山あります。

でも、スポーツだからこそ生きていくために大切な心や仲間、そしてそれらを育む環境を創ることができると思っています。

S.C.P. Japanはスポーツを通じて、一人ひとりの大切な人生をサポートし、誰もが自分らしく歩んでいける未来を創ります。



スポーツを通じて1人1人の豊かな人生に
寄り添いたいという想いを込めました。



VISION

一人ひとりが自分らしく歩んでいける未来を創る

MISSION

- 自分らしく豊かに生きる力を養うスポーツの可能性を探る。
- 共生社会をスポーツを通じて推進する。
- スポーツを共生社会創りに活用できる実務者を育てる。

事業内容と2020年度の実績



事業: 運動を通じた教育プログラム

スポーツや運動をツールとした
教育・学習プログラムを提供しています。

2020年度の実績

定期プログラムの実施：2カ所
単発プログラム：2回



事業: 講演/研修/コンサルテーション

スポーツを通じてD&I、ジェンダー、SOGI、CSR、
SDGs、国際協力等のテーマで講演・研修
を実施しています。

2020年度の実績

行政、教育機関、
NPO団体、企業等への講演・研修：9回



事業: 情報発信

スポーツ関連の話題を中心に、当たり前を疑い、新たな視点を考えていくきっかけを発信しています。

2020年度の実績

日・英ホームページの開設
Twitter・note・Facebookの開設
S.C.P.Japanコラムの配信：33コラム

プロジェクト報告： バルサ財団FUTBOLNETプログラム



バルサ財団とコーディネート契約を結ぶ日本唯一の団体として、スポーツを通じたインクルーシブ教育であるFutbolNetプログラムの日本展開をサポートすると共に、定期的に公式プログラムを実施しました。また、バルサ財団の行うFutbolNet方法論の指導者養成講習会のサポート業務として受講者のフォローアップも行ないました。

【公式FutbolNetプログラムの実績：2件】

● 栃木県宇都宮市での実施

10月より毎週土曜日実施

(10月3日、10日、17日、24日、31日、11月7日、14日、21日、28日、12月5日、12日)

※協力：グローバルキッズメソッド、宇都宮市立西小学校

● クラーク記念国際高等学校横浜キャンパスでの実施

グローバルスポーツ専攻授業内で実施

10月～12月にかけて計6回実施（10月14日、21日、28日、11月11日、18日、12月2日）

【指導者フォローアップの実績：1件】

宇都宮でのプログラムの様子



クラーク記念国際高等学校でのプログラムの様子



プロジェクト報告：

ザンビアの若年女性を対象とした スポーツを通じたエンパワーメント プログラム（国際協力事業）

公益財団法人ジョイセフと外部専門家業務契約を締結し、ザンビア（アフリカ）の農村部の若年女性を対象にしたスポーツを通じたエンパワーメントプログラム（性と生殖に関する知識、性暴力に関する知識、リーダーシップ教育）にコンテンツ提供をさせていただきました。

【提供コンテンツ】

- メッセージムービー
- スポーツと女性のエンパワーメントに関する講義コンテンツ
- スポーツを通じた教育コンテンツ
- 妊産婦さんのためのヨガコンテンツ



プロジェクト報告： プライドハウス東京 アスリート発信チームとの連携



スポーツを通じたSOGI（LGBT）の課題啓発・情報発信として、プライドハウスコンソーシアムメンバーに2020年7月に加盟しました。

共同代表の野口がアスリート発信チームのリーダーとして、プライドハウス東京レガシーガイドブックのコンテンツ制作やアスリートからのメッセージ動画の作成に関わっています。日本発の常設のLGBTセンターとしてプライドハウス東京レガシーが10月21日に東京都新宿にオープンしました。



プライドハウス東京レガシー 完成までの道のり



2020年コラム一覧（全33コラム）



2020年講演・登壇報告：



- 5/26 芝浦工業大学ダイバーシティ入門【野口】
「スポーツとジェンダー」
- 6/11 日本ラグビー協会タレントアイデンティフィケーション(TID)
女子代表スタッフ【野口】
「スポーツとジェンダー（入門編）」
- 6/18 指導者サロン【野口】
「WEリーグとジェンダー課題について」
- 8/21 クラーク国際記念高等学校【野口】
「性の多様性に関する教員研修（入門編）」
- 9/3 （公財）ジョイセフ「スポーツを通じた女性のエンパワーメント
プログラム（ザンビア）」【野口】
「How can sport promote gender equality and women's empowerment?」
- 9/5 福岡県北九州市の「働く女性のためのステップアップ講座2020」【野口】
「スポーツを通して見えたジェンダー課題とキャリア形成」

- 9/21 A-GOALプロジェクト【野口】
「スポーツを通じた国際協力のこれまでとこれから」

- 11/23 港区男女平等参画センターリーブラ【野口】
「スポーツにおけるジェンダー平等の課題とは？ー女性アスリートの現状と未来ー」

- 12/22 順天堂大学スポーツマネジメント特別講義【井上】
「スポーツ開発プログラムとファシリテーションスキルについて」

※JFAこころのプロジェクトの夢先生として4回活動【井上】

掲載記事：



- 7月 日本サッカー協会
『サッカー×キャリア×未来～Your Life with Football～』【野口】
- 8月 女子体育Vol.62
『オリンピックを機に「ジェンダーとスポーツ」の課題について語りたい』【野口】
- 11月 現代スポーツ評論44号
「共生に向けた教育を考える-障害・ジェンダー・人種の壁を越えて-」【野口】
- 12月 BeCAL2021年度 Vol.6「ハッピーライフケア株式会社」【井上】

2020年イベント：

9/26 フットサルイベントへのゲスト派遣

グローバルキッズメソッド様のフットサル教室にて、井上と繁浪が元なでしこリーガーとしてゲストで参加をしました。50名弱の子供たちと一緒にボールを蹴り、サッカー教室をさせていただきました。



財務報告：

正味財産増減計算書

令和2年2月27日 ～ 令和2年12月31日

(単位：千円)

科目	当年度	前年度
I 一般正味財産増減の部		※対象となる前年度が無いいため前年度は空欄とする
1. 経常増減の部		
(1) 経常収益		
受取寄附金	2,622	-
事業収益	607	-
受取補助金等	65	-
経常収益計	3,295	-
(2) 経常費用		
事業費	750	-
管理費	146	-
経常費用計	897	-
当期経常増減額	2,398	-
当期一般正味財産増減額	2,398	-
一般正味財産期首残高	0	-
一般正味財産期末残高	2,398	-
II 指定正味財産増減の部	0	-
III 正味財産期末残高	2,398	-

貸借対照表

令和2年12月31日現在

(単位：千円)

科目	当年度	前年度
I 資産の部		
1. 流動資産		
流動資産合計	2,173	-
2. 固定資産		
その他固定資産合計	239	-
固定資産合計	239	-
資産合計	2,412	-
II 負債の部		
1. 流動負債		
流動負債合計	14	-
負債合計	14	-
III 正味財産の部		
1. 一般正味財産	2,398	-
(うち特定資産への充当額)	0	-
正味財産合計	2,398	-
負債及び正味財産合計	2,412	-

法人名

一般社団法人S.C.P. Japan (日本語名)
Sport for Creating Pathways Japan (英語名)

メンバー

野口亜弥 (共同代表)
井上由惟子 (共同代表)
繁浪由希 (理事)

所在地

〒270-0111
千葉県流山市江戸川台東1-293-4

沿革

2月27日 千葉県に法人登記、設立社員3名
5月 S.C.P. Japanコラム開始
6月 バルサ財団と契約締結
7月 プライドハウスコンソーシアムに加盟
8月 女性のエンパワーメントプログラム実施 (ザンビア)
10月 バルサ財団FutbolNetプログラム開始
12月 石川県金沢市での地域プログラム
【コロナウイルス感染症拡大のため延期】

連絡先・ソーシャルメディア

ホームページ【日】: <https://scpjapan.com/>
ホームページ【英】: <https://scpjapan.com/en/>
メール: info@scpjapan.com
Twitter: @scpjapan1
Facebook: S.C.P.Japan1
note: <https://note.com/scpjapan>



私たちの活動は、国連が定める「持続可能な開発目標 (SDGs)」のゴール3、4、5、10、16の達成を目指しています。



私たちは、「子どもの権利とスポーツの原則」の主旨に賛同し、
幣団体が定めるセーフガードポリシーを遵守することを宣言します。

【御協力企業様】

RAD株式会社

【プロボノボランティア/インターンの皆様 (50音順)】

倉石英明様、小松亜希様、高橋麻里緒様、長曾さくら様、
中野英一様、野口拓哉様、ハウエルズ佳子様、
藤井あすか様、マリサ・シュレンカー様



一般社団法人 S.C.P. Japan
Sport for Creating Pathways Japan
